

川崎市健康安全研究所 菌株及び患者情報を使用する調査研究概要

研究課題名	川崎市で分離された腸管出血性大腸菌の薬剤耐性に関する調査
研究の概要	腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症は、ベロ毒素を産生又は当該毒素遺伝子を保有する大腸菌を原因とする感染症です。EHEC に感染すると、無症状のまま経過することもあります。主に腹痛、水様性下痢、血便等の症状がみられ、重症化した場合は溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症等を併発して死に至ることもあります。 近年、EHEC については、治療薬である抗菌薬が効きづらい菌（薬剤耐性菌）が報告されており国内外で問題となっていますが、川崎市を含め国内での薬剤耐性の状況は不明です。 そこで、川崎市において、行政検査で検体から検出又は市内医療機関等から搬入された EHEC の薬剤耐性の状況を把握することを目的として本研究を実施します。 本研究成果を公表する際は、個人情報の保護に十分配慮し、氏名や住所などの個人を特定できる情報を削除し匿名化したうえで行うため、個人が特定されることはありません。 提供された検体（糞便）や検出された菌株を研究に利用されることについて、研究対象者もしくはその代理人の方が同意されない場合は、研究への利用を拒否することが可能です。拒否することによって不利益が生じることはありません。研究への利用を拒否される場合、下記の連絡先へ御連絡をお願いします。 研究への利用を拒否される旨の申出があった場合には、研究対象から除外し研究目的での検体等の利用を停止します。ただし、利用の拒否の意思表示があった時点で、すでに研究結果が公表されている場合には、対応できない場合があります。
研究対象者	平成27年1月～令和6年12月に EHEC 感染症と診断された方のうち、検体（糞便）やそこから検出された菌株が保健所又は医療機関を通じて当研究所に搬入された方を対象とします。
研究に利用する情報	検体採取年月、研究対象者の性別・年齢階級
研究実施期間	令和8年8月21日～令和9年3月31日
連絡先	川崎市健康安全研究所 微生物担当課長 電話：044-276-8250（代表）